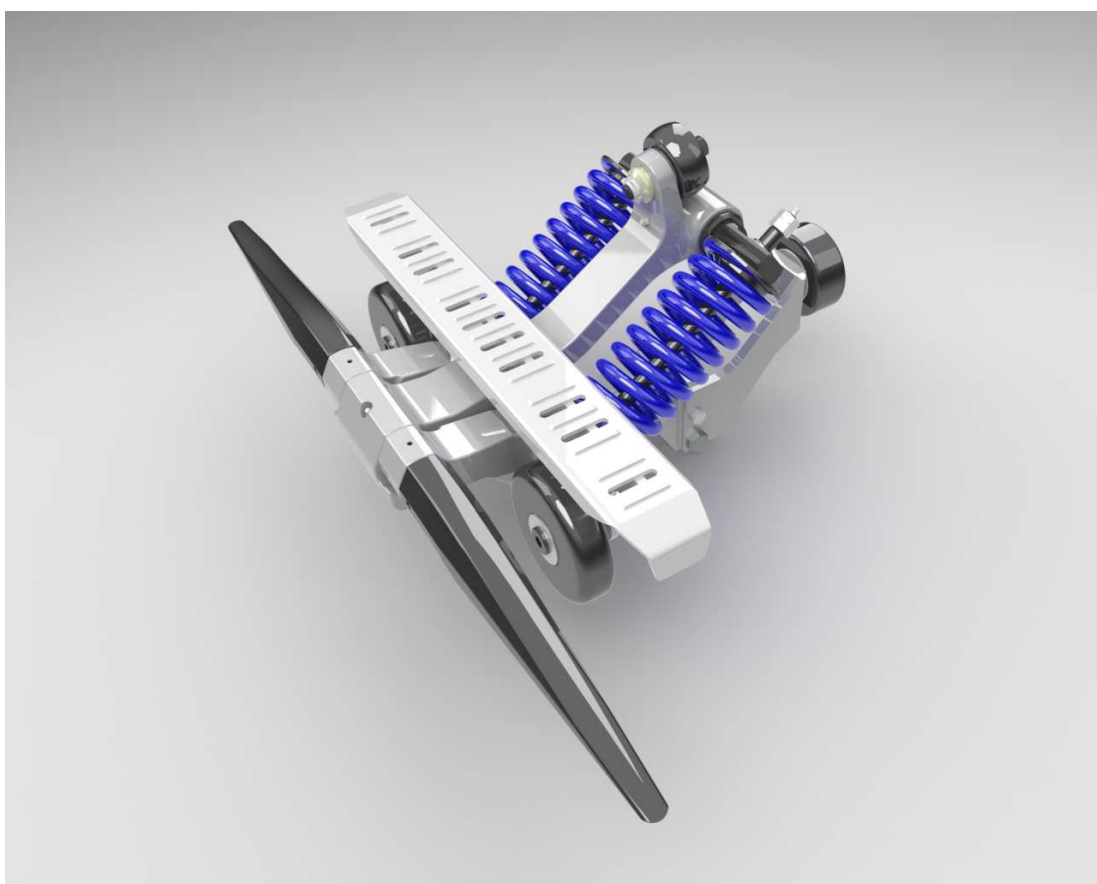
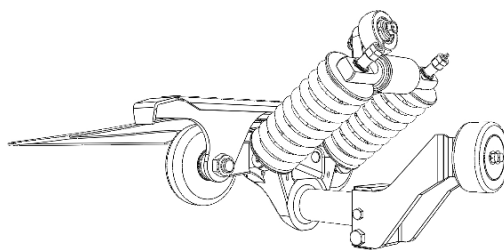
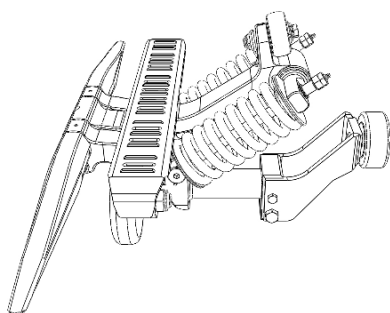
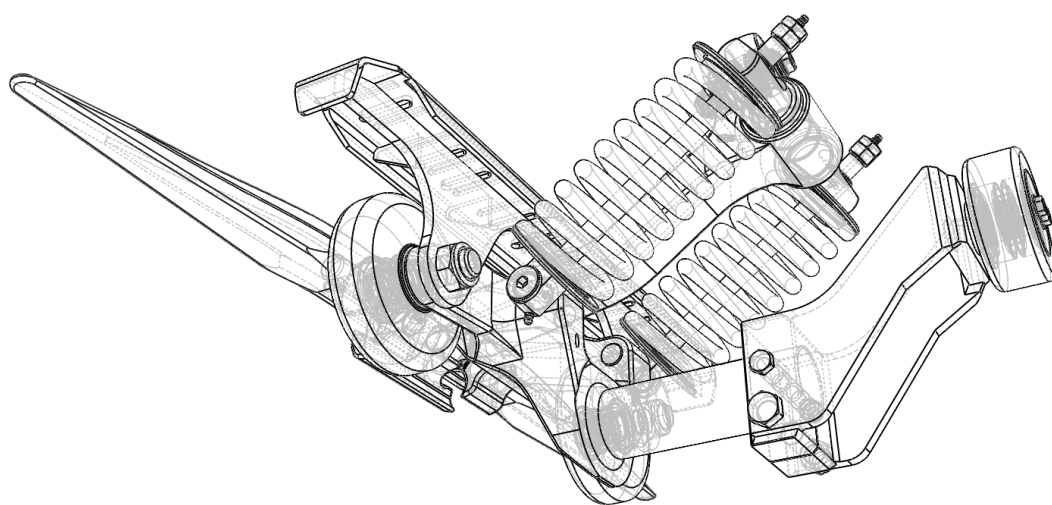


新型握索装置のご案内



■基本仕様

1. 乗車定員 4名
2. ロープ径 35mm、39mm
3. 最急こう配 45°
4. 搬器総重量 6470N(フード搬器対応)
5. ばね仕様 コイルばね
6. ウイング 樹脂製
7. トラバース 鉄製(樹脂プレート取付可能)
8. 走行ローラー 樹脂製
9. 後部ローラー 樹脂製
10. 開口ローラー 鉄製

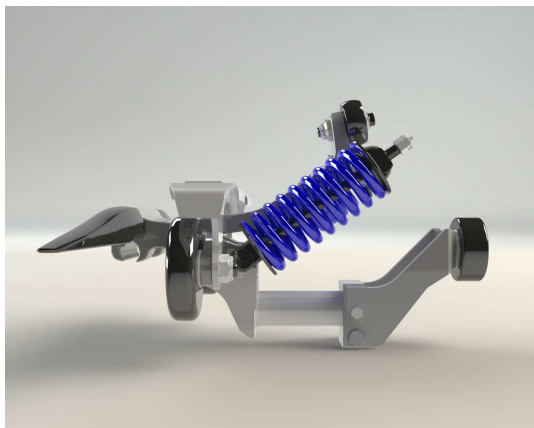
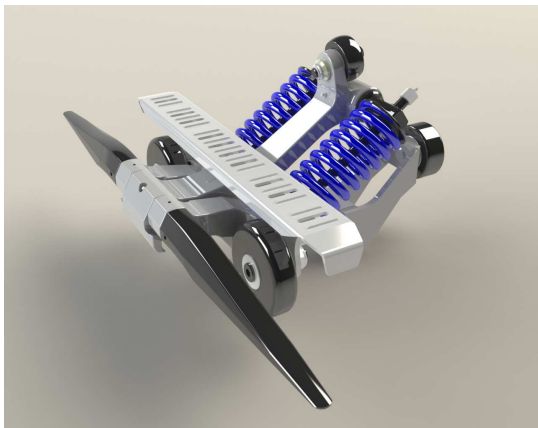


■特徴

1. 新型握索装置『AS-D 型』は TA 型握索装置の後継機として開発した、自動循環式索道用の握索装置です。
2. TA 型握索装置と互換性があるため、混在運用を可能としています。
※保安装置(可動口金位置異常検出装置)の追加が必要です。
3. 開放型コイルばねを採用しており、目視点検が容易にできます。
4. リンク機構を使用しないシンプルな構造です。
5. コイルばねの配置を傾斜させたことにより、各ローラーが負担する荷重を軽減させています。
※ランプレールの摩耗が軽減されます。
6. 各口金の握索部には、摩耗の進行度合いを確認できる、スリップマークを設けたことにより、交換限度を容易に判別できるようになりました。
7. すべての揺動・摺動部分にはブッシュ(すべり軸受)を使用し、給油可能な構造としています。
8. 懸垂装置(ハンガー)の取り外しは、後部フレームを取り外すのみで可能です。
9. コイルばねをユニット化したことで、ばねジャッキ等を使用せずに、分解・組立が可能です。
※コイルばねユニットの分解は専用工具(ジャッキ)が必要です。



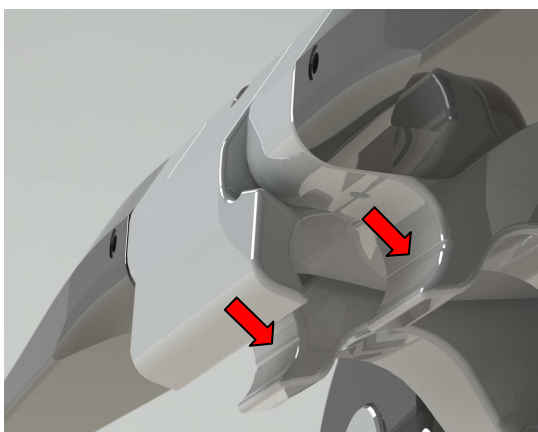
■ 握索装置全体



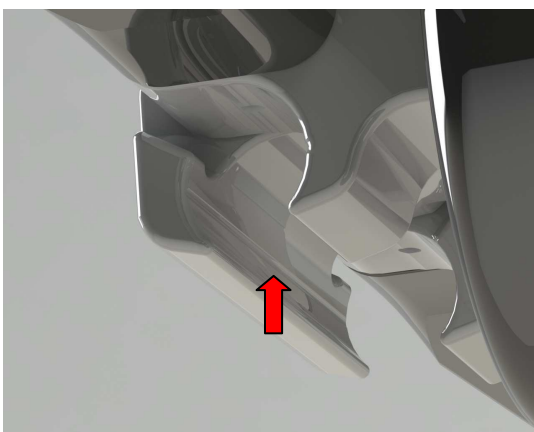
■ 握索部

握索部には摩耗の進行度合いを一目で確認できる、スリップマークを設けました。

※摩耗がスリップマークに達した時点で口金交換となります。

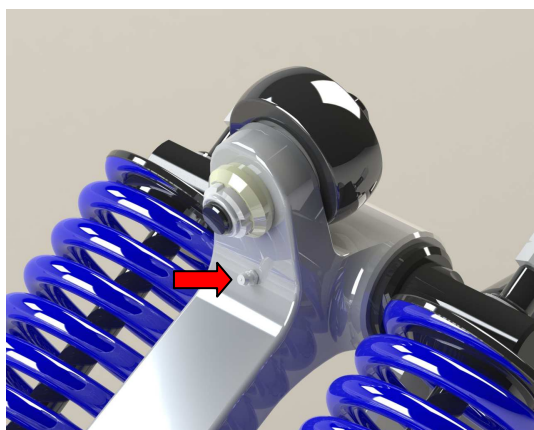
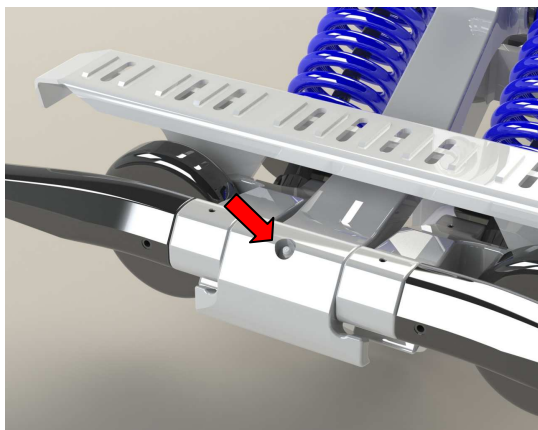


固定側

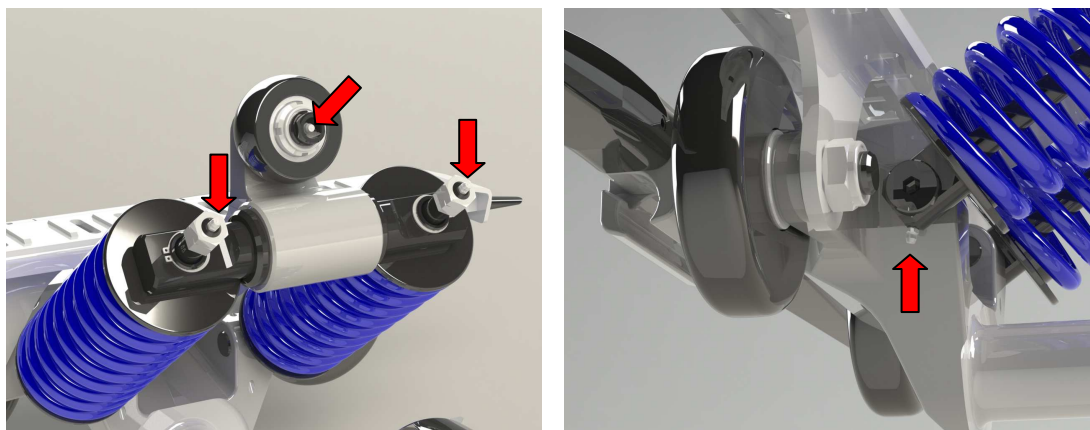


可動側

■ 給油部(可動口金×2箇所)



■給油部(開口ローラー及びスプリングユニット×5箇所)



■整備(部品交換、修理)

1. 時期

5年経過または握離索回数20万回のいずれか早い方で、全数の握索装置について実施してください。

2. 整備項目

各部品について損傷・摩耗・さび・潤滑不良がないことを確認し、整備してください。

■納入実績(スキー場)

2013年

長野県:2か所

岐阜県:1か所

2014年

北海道:1か所

宮城県:1か所

長野県:5か所



商品についてのお問い合わせは

札幌営業所	TEL:011-222-2783	FAX:011-221-0140
東北営業所	TEL:022-772-7855	FAX:022-218-2831
信越支店	TEL:026-259-8900	FAX:026-259-8903
本社営業1課	TEL:077-514-1016	FAX:077-514-1022